

# 民報あばしり

NO.856

2012.2.26

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二、四四五八  
F 四三二、四四五七



## TPPシンポジウム開かれる

2月18日、TPPシンポジウムが北見市相内で開催されました。主催は、日本共産党北見地区委員会と農民連などが実行委員会をつくり、「TPPでどうなる農業・医療・地域経済」をスローガンに取り組み、オホーツク管内から330人を超える参加で、用意した資料がなくなり立ち見が出るほど会場は満杯で熱気に包まれました。

### TPPで国が減びる！

「米韓FTAの本質と日本への示唆」と題して柳キョンヒ酪農学園大学准教授が基調講演を行い、「米韓FTA締結後の韓国の現状はひどく、希望を失った若者が、デモや反対運動に参加している。2国間のFTAであっても



大きな影響を受けている、TPPのインパクトはFTAをはるかに超えるものであり、日本は絶対にそれを軽視してはいけぬ」と指摘しました。

後半のシンポジウムは、パネリストとして柳准教授、紙智子参議院議員、土谷耕治美幌町長、佐藤正昭オホーツク管内JA組合長会長の4名で行なわれ、紙智子参議院議員が主に国会情勢を報告し、佐藤JA会長は「規模拡大を進めても所得は上がらない」と農業分野について報告。土谷美幌町長は美幌町での全町運動について報告、さらに全ての町で連帯した取り組みが必要と強調しました。

参加者は「何も知らされないまま事が進められていることに恐ろしさを感じます。韓国の経験の話は良く分かった。同じことが日本でも思うとゾッとします」「TPPは最初農業だけが困る問題と聞いていたが、よくよく調べてみるとすべての年代にも子ども達にだけ負担をかけるか知れば知るほど憤りを感じる」「美幌町長の話はとても良かった。やはり町長として町民一同をしつかり見ているとこういう考えになるのだ」などの感想が寄せられました。

## いよいよ東奔西走

具体策は語らず、派手なパフォーマンスでマスコミを最大限利用する小泉劇場の再来かと思わせる大阪市の橋下市長が行っている「思想調査」は驚くべき内容です。

正式には「労使関係に関する職員のアンケート調査」で、市職員の思想・信条の自由を否定し、労働組合の活動に介入する不当労働行為だけでなく、「政治家の応援」に「誘った人」という形で一般市民の実名を答えさせるなど、住民への監視にまで踏み出す重大な人権侵害事件です。ところが大手新聞各紙は、「維新八策」など国政進出をめざす橋下氏ら「大阪維新の会」の動きを大々的に報じながら、今回の「思想調査」事件を真正面から批判する社説や論評は一切掲載していません。

違憲・違法が明らかでない「思想調査」をはじめ、橋下氏が大阪で実際に行っている「独裁」の自身は何も知らせず、「改革者」であるかのような幻想をふりまく「こうした大手マスコミの姿勢には、かつて「大日本言論報国会」のもとで侵略戦争を鼓舞した報道機関・言論人がたどった道に逆戻りする危うささえ感じられ、「言論の自由を守る」ことを使命に掲げてきたマスメディアはどこに行くのでしょうか。

## 松浦有戦メモ

日本共産党が「社会保障充実、財政危機打開の提言」を発表しました。

民主党の野田政権は「社会保障と税の一体改革」と称して、消費税を2014年に8%に、2015年に10%に増税する大増税法案を成立させようとしています。多くの国民からこの計画に対して強い不安と批判の声が広がっています。

日本共産党は、所得の少ない人に重くのしかかる最悪の不公平税制だと主張しています。消費税は、暮らしても経済も財政も壊します。

中止を公約した八ツ場ダムや1メートル1億円もかかる東京外郭環状道路などのムダな大型開発を次々と復活させ、重大な欠陥が指摘されているF35を次期戦闘機として総額1・6兆円も費やし、320億円にのぼる政党助成金は受け続けその一方で、富裕層や大企業には年間1・7兆円もの新たな減税です。こういうムダ使いを続けながらの大増税など許せるものではありません。詳しくは提言をお届けしますので読んでください。

## 流水

2月に入ったとたん、インフルエンザの流行で、つぎつぎ学校に広がった。予定していた読み聞かせや、大型紙芝居活動がすべて延期になり、学校に用事があるときはマスクをして出かけるようにと、連絡が入った。かわるがわる学級が閉鎖され、この時期毎年、このような状況になる。学年の締めくくりも迎えるわけで、ぴりぴりしているだろうなあと思える。▼体力づくりで「朝、5分間走ろう」と、取り組んだことがあった。毎日続けることの意味は、2年目で現れた。隣のクラスが閉鎖になっても、わがクラスは、元気で朝の歌から始まって、学習にいそしみ、給食を残さずぺろりと食べ、にぎやかに下校していった。それは今もあるだろうが、習熟度別学習が始まり、研究会でもないので午後8時頃まで教室の明かりがついているし、子ども大好きな先生が、ゴールデーンウィーク後に辞めたり、退職後に異常が出て、入退院を繰り返すなど。学校が元気でいてほしいと願う▼現職の時、町内会に支えられて無事に働くことが出来たのだから、お札にと退職後の8年間、役目を引き受けた。今年、次の方に譲った。これからも地域に依拠して暮らしたい。3月は、恒例の「持ち寄りの餅つき会」だ。懐かしい音ペタンペタン！と。(て)